

地域子ども・子育て活動支援助成事業 実施報告書（別紙2）

団体名	中野島学童ホール
-----	----------

取組の名称	放課後児童健全育成事業を基盤とした地域との連携事業
実施場所	中野島学童ホール
対象地域	川崎市多摩区中野島周辺
対象地域の特色・課題	多摩川が非常に近く、梨を栽培する農家も多く、比較的自然が多い地域である。駅前の大型マンション、市営住宅が多いこと、最近では農地を宅地とする動きもあり、住民、若者、子どもが増えている地域である。自然が多いが故に、それらの場所周辺では、昼間と夜間の明るさ、人通りに大きな差があること、周囲から死角になりやすい場所が多いことから、若者や子どもが犯罪に巻き込まれる可能性が高いと考えられる。
取組の趣旨・目的	事業1：学童保育(中野島学童ホール) 小学生、およびその親に対し、放課後や長期休暇時の安全・安心な居場所を確保すること。 事業2：地域連携 子ども食堂開催による地域連携、および子どもの大人・異世代との交流による地域の輪づくり。
実施内容・実施スケジュール	事業1：放課後児童支援員の指導の下、小学校1～6年生（医療的ケア児、特別支援学級児を含む）を対象に、放課後学習（学校の宿題、自主学習）、外遊び・室内遊びなどの集団生活から人間関係の構築力や自主性を養う支援を行う。 事業2：学童保育の人的資源を基盤とし、地域の子ども、若者、その親、地域の大人に向けた情報発信を行い、地域の方々が気軽に立ち寄り、また、ボランティアの方々も気軽に参加できる場所、仕組みをつくり、来場者に食事の提供を行う。

参加者の年代	事業1：児童 事業2：幼児～大人	定員 (1回あたり)	事業1：約20人 事業2：約25人
実施頻度	事業1：週5日以上 事業2：月1回	活動日数 (年間)	事業1：268日 事業2：4日
スタッフ体制	事業1：常勤支援員1名/日、非常勤支援員＋有償ボランティア1～2名/日（長期休み時は増員対応あり） 事業2：基本的に子どもを預ける親5～6名/回で対応（参加した子ども達も自ら手伝いを実施する）		
連携する団体・連携の手法	事業1：他の学童保育機関、有償ボランティア派遣機関と定期的に会合を持ち、継続すべき点、改善すべき点の情報交換を行う。 事業2：近隣の子育て支援団体（NPO 法人ままとんきっず）や保育機関の関係者、利用者を子ども食堂に招待し、活動を認知してもらうと共に、親の就労支援、子どもの見守りについて意見交換を行う。かわさき子ども食堂ネットワークと連携し、こども食堂開催による地域活性化の意見交換やフードバンク利用による食物ロスの低減を図る。また、SIV（専修生田ボランティア）に協力を頂き、年に1～2回、子どもや大人を対象に災害や防犯に関する訓練を行う。		
取組実施により見込まれた効果	事業1：新型コロナウイルス感染拡大の中、適切な対応策を講じることで親の就労支援と児童に安全・安心な居場所を確保することができた。また、コロナ感染対策を十分に行った上で、学童行事（デイキャンプ、ハイキング）や他学童との交流会（ドッジボール大会、けん玉大会）を開催し、子どもの交流範囲の拡大や適切な人間関係の構築を図ることができた。 事業2：新型コロナウイルス感染拡大防止のため、子ども食堂の実施回数は4回となってしまったが、子ども、若者が世代を超えた地域の方との触れ合い、顔見知りになる場を提供できた。		